

「皮革収縮温度測定試験」 についてのご紹介

ボーケンでは「皮革収縮温度測定試験」を行っております。
衣料品に使用される皮原料(原皮)は、「鞣し」と呼ばれる工程で「皮」から「革」に変化し、製品に供されます。例えば、ジャケットなどは、成形の為、プレス等行われることがありますが、「鞣し」が不十分であると、熱により収縮してしまう可能性があります。この試験によって、製品に適した革であるか確認することができます。

■ 試験方法

- 革試験方法 (JIS K 6550)
衣料用以外の革
- くつ用革 (JIS K 6551)
甲革、裏革、中底革、表底革
- 衣料用革試験方法 (JIS K 6552)
衣料用の牛革、馬革、やぎ革、めん羊革、その他の革

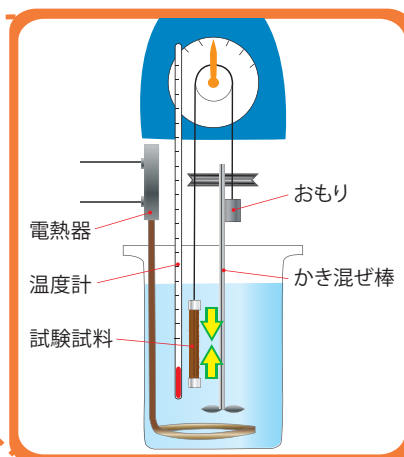


皮革収縮温度測定機

革の液中で収縮する温度を測定する試験です。
試験試料(10mm×50mm)に所定の加重をかけた状態で水もしくは水・グリセリン混合液に浸漬し、液温を一定の速度で昇温させ、収縮が開始した時の温度を読み取ります。



①試験試料に加重を加えます。



②試料が収縮始めるとブザーが鳴ります。

上記の内容についてご不明な点等ございましたら、こちらまでお問い合わせさせていただきますよう、お願い申し上げます。

東京事業所 試験課
担当: 梶原、石田、芳田

TEL:03-5669-1380 / FAX:03-5669-1389